

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 1月 15日

事業所名 しあわせ駅次郎丸

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		用途や人数により色んなスペースを利用している	小部屋が多い為、目が離せない
	2 職員の配置数は適切である	○		人手が必要な際は、他しあわせ駅からのヘルプで対応している	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		事業所内の安全点検を行っている	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		半年に1度振り返りと目標設定を行っている	参加出来ない職員は後日閲覧してもらうようにしている
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		意見をもとに業務改善に努めている	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページにて公開している	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		第三者評価は行っていない
8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		月1回事業所内研修を設けている	外部からの研修案内を閲覧出来るように提示している	
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		半年に1度振り返りと目標設定を行っている 計画作成時には支援員会議を実施し共有している	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		職員間で話し合い子どもの適応行動の判断を行っている	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		利用予定を踏まえて、翌月の活動を職員で意見を出し合い決めている	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		季節や時期に合わせた行事を取り組んでいる	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		休日は子ども全員が関わられる内容や場所を選定している	平日はなかなか外出活動出来ない為、庭のランボリン使用や子ども同士の交流、日常動作を取り入れている
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		自宅・学校・放デイそれぞれの状況を鑑み、総合的に目標設定をしている	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		日々、配慮点、役割分担、どのように動くかなども踏まえた確認を行っている	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		送迎範囲が広く終礼が出来ないため、毎朝の朝礼を行い共有している	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		日々の記録は、計画に沿った内容になるように様式を工夫している	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		半年に一度は振り返りを行い、計画に活かしている	
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○		その日の子どものペースや特性に合わせて活動を考えて支援している		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		職員からの意見を吸い上げた上で、児童発達支援管理責任者が出席するようにしている	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		学校で行われる会議やケース会議に参加している また、下校時は学校の先生と情報共有をしている	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		医ケアの必要な子がいない
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○		特に共有は行っていない
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		卒業の際はサポートブックを作成し、保護者の方にお渡ししている	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			研修等の案内が来た時は回覧出来るようにしており、受講の有無はそれぞれに任せている
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		外出先の公園などで同年代の子と遊ぶ事はあるが、特別に機会は設けていない
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○		協議会等の情報がない機会があれば参加したい
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時や連絡帳などを通してその日あった事など、必ず伝えている	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		保護者の子どもの困り事には具体的に助言を行ったりしている		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に管理者が説明を行っている	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		送迎時や電話、面談の機会の際に応じている	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		コロナ等感染症の情勢によって今後検討する
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情が生じないように日々支援や保護者とのやり取りを密にしている	苦情があった際は、迅速に対応し、職員間で話し合い対応している
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		活動の様子などの写真をラインで共有したりしている	
	35	個人情報に十分注意している	○		全職員徹底している	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		50音表、筆談、ジェスチャーなどを利用している	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		特に行っていない

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		マニュアルを策定し、いつでも閲覧できるようにしている	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		年2回の訓練を実施	子どもを交えては年1回等なので定期的を実施していきたい
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		定期的な研修を実施	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		定期的な研修を実施	現状、身体拘束が必要な子どもはいない
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		アレルギーの子の把握はしている	医師の指示書は貰っていない
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハットが起こった時は記録し、ファイリングしている	